Active Directoryコネクタのログをサポートに送信する

内容

はじめに

ADコネクタのログを送信するタイミング

ダッシュボードのステータスインジケータ

ログの手動収集

　新しい設定または新しいログ要求の場合

バージョン1.14.3のログの場所

はじめに

このドキュメントでは、トラブルシューティングおよびサポート要求のためにActive Directory Connector(AD)のログを収集して送信する方法について説明します。

ADコネクタのログを送信するタイミング

次の状況では、Active Directoryコネクタからログを送信します。

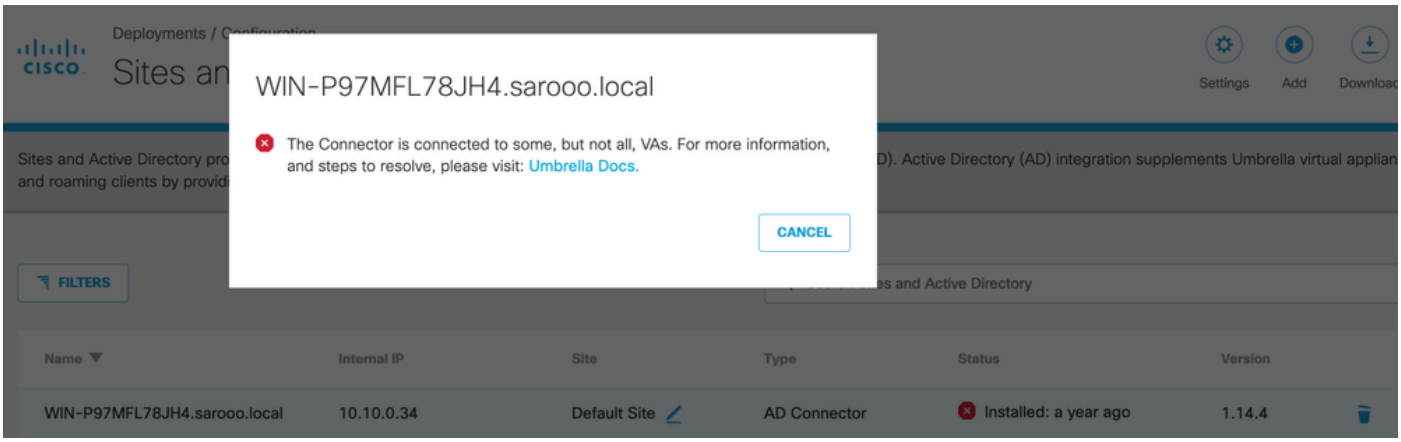
- ADコネクタまたはADサーバが「Error」または「Warning」状態であり、「Common Messages for Active Directory Components and Virtual Appliances - How to resolve them」の記事で問題が解決されない。
- AD Connectorのログがサポートから特に要求されました。

ダッシュボードのステータスインジケータ

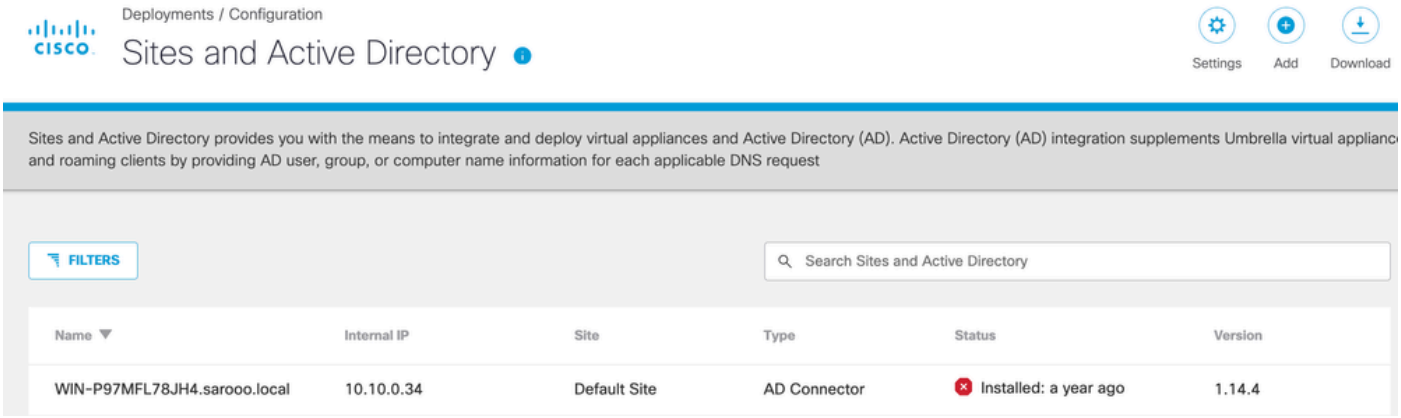
機能しているADコネクタのステータスが緑色で表示されます。灰色、黄色、および赤色のステータスは問題を示しています。

Name ▼	Internal IP	Site	Type	Status	Version
WIN-P97MFL78JH4.sarooo.local	10.10.0.34	Default Site	AD Connector	Installed: a year ago	1.14.4

30921941341716



30921930596756



30921930598804

ドメインコントローラに接続できないか、ダッシュボードにエラーまたは警告が表示されているADコネクタごとに、ADコネクタログを提供して、Umbrellaサポートが結果を調査できるようにします。

ログの手動収集

1. C:\Program Files (x86) > Cisco > CiscoADConnector > v1.x.x > CiscoAuditClient.logにあるファイルを添付します。
2. C:\Program Files (x86) > Cisco > CiscoADConnector > v1.x.xから最新の2 ~ 3個の.zipログファイルをサポートチケットに添付します。3つ以上の.zipファイルを送信しないでください。
3. 20 MBを超えるファイルがある場合は、2つの回答に分割するか、アップロードの手順についてサポートにお問い合わせください。

新しい設定または新しいログ要求の場合

一度も動作したことのない設定で作業している場合、または新しいログを要求する場合は、次の手順を実行します。

1. OpenDNS AD Connectorserviceを停止します。
2. C:\Program Files (x86) > Cisco > CiscoADConnector > v1.x.x > CiscoAuditClient.logにある

ファイルを削除します。
3. サービスを再起動します。
4. 5 分間待機します。
5. サポートチケットにnewCiscoAuditClient.ログファイルを添付します。
このプロセスにより、ログファイルには最新のスタートアップ試行のみが含まれるようになります。

バージョン1.14.3のログの場所

バージョン1.14.3にアップグレードした場合、ログはC:\Program Files (x86) > OpenDNS > OpenDNS Connector > v1.x.x > CiscoAuditClient.logにあります。

バージョン1.14.3の場合は、C:\Program Files (x86) > OpenDNS > OpenDNS Connector > v1.x.xから最新の2つまたは3つの.zipログファイルも添付してください。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。